

別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：上別府隆男

職業：教授

所属：福山市立大学都市経営学部

専門分野：国際協力、多文化共生

日本語レベル：母語

英語レベル：上級（英検 1 級）

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

タイではユネスコ職員として3年近くアジアの途上国の教育開発に従事し、アメリカでは8年余り、大学院での勉強に加え、研究や教育に携わりました。帰国してからは、調査や学会発表などで日本と欧米・アジア・中東を行き来しています。出身国の日本では、地方におけるSDGs普及、国際化、多文化共生、外国人労働者受入れなどについて、調査や講演を行っています。

広島の子供・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

SNSなどのバーチャルな世界経路ではなく、実際に聞いたり、見たり、話しあったりすることで、刻々と変化する気候、世界、時代が皆さんの将来を着々と作っていることを深く理解してほしい。また、外国の理解や国際交流に加えて、世界の80億人の中で日本がいかに恵まれているか、逆に、たまたま生まれた国が紛争、内戦、飢餓、貧困などで苦しんでいると、皆さんと同年代の人たちの人生が全く違うものとなることを認識してほしい。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

宮崎県小林市の生まれ。国家公務員（文部省）や国際公務員（ユネスコ）を経てアメリカで修士号と博士号を取り、帰国後20年近く大学教員として教育、研究、社会貢献分野で活動。【教育】では、アメリカで経験したアクティブラーニングをベースに参加型・獲得型の授業を展開。【研究】の関心は、教育分野の国際開発・国際協力・開発や人の国際・国内移動。現在の主な研究テーマは、ドイツと日本のトランスナショナル高等教育（ベトナム、マレーシア、トルコ、エジプト）、SDGsと地方創生・多文化共生、外国人集住団地の持続性のための仕組み作り。【社会貢献】では、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）に加盟する福山市立大学の担当者として福山市や尾道市の小学校・中学校・高校のユネスコスクール加盟申請への助言、SDGsやESDのワークショップによる普及、びんご多文化共生研究会メンバーとして、備後地域を外国人に魅力的で快適な街にするための市民向けワークショップを開催。